

Noto Rotary Club

2024~2025

Weekly Report



能都ロータリークラブ

第2610地区 石川第四グループ

No.20

2024年 11月 28日 (木) 第2756回

通常例会

於:能登町商工会館2階



RI会長 ステファニーA.アーチック
「The Magic of Rotary」

第2610地区 大橋 聰司 ガバナー

「ロータリーを高めよう」
能都ロータリークラブ
「報恩」

- ⌚ 開会点鐘 12:30
- ⌚ 司会進行: 鍛治 S・A・A
ソング: 奉仕の理想
- ⌚ 再会の握手: 感染防止の為割愛
- ⌚ 食事と交換
- ⌚ ロータリー財団月間

- ⌚ 委員会報告
出席報告: 船田委員
ホームクラブ 22/37名中 59.45%
メール補正後 100%
ニコニコBOX: 大谷委員
15件 15,000円



会長の時間 水元 圭介 副会長

先日、御逝去された新平会員におかれましては、当クラブにおきまして在籍された47年間に、幹事・第24代会長・第4グループガバナー補佐等々を歴任されましてクラブの発展に多大な御尽力を賜ってまいりました。

2015年には旭日双光章を授与されまして、受賞記念例会を行ったことをよく覚えております。

クラブの偉大な先輩が亡くなられて大変残念ではありますが、皆さんが大切にしてきた、「能都ロータリークラブ」を今後も諸先輩方に恥じぬよう、運営して行きたいと決意を新たにした次第です。

本日は、友好クラブで有ります「京都八幡ロータリークラブ」より「横須賀幹事」がお見えになりました。元日の発災・9月の豪雨災害・昨日の地震が有り、心休まる時がない状況ですが、防災力の向上が求められているのではないかと思います。

私共の会社でも、「防災士」の取得に全社を挙げて取り組んでおります。各施設に防災士を配置する事により、防災力の向上に努め、お客様に安全・安心を提供出来るよう努めております。

幹事報告 中川 満 幹事

来年富山県黒部市で行われます「地区大会」に関して、「指導者セミナー」について、例年は会長・幹事が出席しているのですが、今回は全会員対象との連絡が来ております。出席希望者は私まで連絡下さい。



北陸中日新聞の紙面で 堂野会員 がご尽力された記事の切り抜きを掲示しております。大谷会員の御子息及び五田会員の御令嬢がご結婚されたとの事なので、お祝いをお渡しいたします。おめでとうございます。

持木 葉子 ガバナー補佐

3月23日に開催するIMの実行委員会を立ち上げました。

実行委員長は 川端委員 です。

今後は、各委員長や各委員のメンバー等を決めていきますので、御協力をお願いします。

ロータリー奨学生の「ユーハン」さんより11月28日の地震について、心配ですとのメールが有り、大丈夫だと返事をしたところ、安心した様子でした。

次月度例会予定 持木 一茂 例会委員

12月5日:能登町商工会館2階 12:30

年次総会・誕生結婚祝い

12月12日:能登町商工会館2階 12:30
会員卓話

12月19日:国民宿舍能登うしつ荘 18:30
家族同伴例会(クリスマス例会)

12月26日:能登町商工会館2階 12:30
クラブアッセンブリー:外部卓話

京都八幡ロータリークラブ:横須賀 昭男 幹事 随行者 長尾 公子 様
私が企画した「防災講演会」にお越しいただいてありがとうございます。

八幡でも、南海トラフ地震について話題になっております。

パネルディスカッションについても、行政や市民団体も巻き込んで開催しました。陸上自衛隊の部隊長にも来ていただきました。持木ガバナー補佐・川端会員の発言等、とてもタイムリーな報告を頂き、皆感銘いたしました。



「防災講演会」報告 水元 圭介ロータリー情報委員長

藏 伸廣 友好クラブ委員長

過去に八幡市で大洪水があつたとのことで、甚大な被害があつた教訓を残す意味で、「防災講演会」を開かれたそうです。

会場の市民会館小ホールでは、たくさんの市民の方々が参加されていました。

水元会員の現状の説明の後、パネラーとして川端会員の消防隊員としての自身の体験談や持木会員の発表時には、言葉に詰まつた際に会場内から「がんばれ」の声があがり、非常に感激しました。八幡の皆さんは防災に関して、高い関心があることがうかがえました。

懇親会では、日本料理店で八幡ロータリークラブの方々と美味しい料理を食べながら親睦を深めることができました。会員の方のお店にもお邪魔して、大変楽しい夜を過ごせました。

翌日は、少し観光をして、途中「越前そば」を食べてかえってまいりました。

上野 峰喜 会員

講演会は「一部」と「二部」で構成され、一部では「NPO法人・都市災害に備える技術者の会」の片瀬範雄さんの講演で、神戸市職員時代の「阪神淡路大震災」の経験をきっかけに、東日本大震災や熊本地震そして、今回の能登半島地震にもいろんな形で現地におもむき、様々な活動をされている方です。

二部では、パネルディスカッションが行われ、持木会員と川端会員がパネラーとして出席されました。持木会員からは、柳田温泉病院の被災状況等の説明後、自衛隊、消防、Dマット等の方達の助けもあり無事、患者の移送が出来た事や、被災状況を見て「病院の存続は無理」と思ったが被災された他の医師の「またやろう」との前向きの言葉や、患者さんの「ここに帰ってきたい」との言葉に励まされ、再建を選んだとのお話でした。

川端会員は、消防隊員としての実際の活動を時系列に沿つたお話をされ、聴衆の皆さんに現実味をもって伝わった様です。

同時に、地域にとっての消防団の必要性についても、改めて皆さんに認識されたのではないかと思います。

八幡市長の挨拶では、市としてもいろいろな災害に対してどう備えるかといった事を、「防災講演会」を通じ知っていただくことは、誠にありがたい事ですと言われておられました。

水元会員から、能登町の被害状況・人的被害・インフラ被害・津波被害・火災被害 等々と、インフラの復旧・公費解体の進展具合・等のお話がありました。

能登町の、9年間の復旧復興計画では

令和6年～7年・復旧期：住宅・生活環境・インフラの早期復旧と町の再生準備。

令和8年～10年・再生期：生活環境、生業の本格復旧・地域の価値を高める。

令和11年～14年・創造期：地域の新たな魅力、活力、にぎわいの創出・新たな価値の創造。
といった3つの段階に分けて、復旧復興を進めようとの説明がありました。

講演会は、予定より1時間程長くなりましたが、皆さん飽きる事なく、熱心に聞かれていました。

大変中身の良い講演会に参加できて、ありがとうございました。



週報作成：能都ロータリークラブ

2024-2025年度 会長 朝倉 学 幹事 中川 満 公共イメージ向上委員長 武田 憲了

設立：1967年6月3日 認証：1967年6月23日

例会日：毎週木曜日 12時30分 開会点鐘

例会場：能登町商工会館2階

事務局：〒927-0433 石川県鳳珠郡能登町字宇出津ヲ字1-12
TEL 0768-62-0777 FAX 0768-62-3435

